

呉市手をつなぐ育成会

～ 8月号～

令和4年8月1日発行  
呉市手をつなぐ育成会  
会長 中川 潤二

# 育成会だより



〒737-0051  
呉市中央5丁目12-21  
呉市福祉会館 3階  
Tel (0823)24-2260  
Fax (0823)24-2568  
E-mail kure-teotunagu  
@herb.ocn.ne.jp  
<http://kure-teotunagu.org/>



障がい児者を守り、その福祉の向上を図ることを目的とします。

七夕に願いを



呉市立三坂地小学校  
コスモス学級作品

## もくじ

- 表紙 呉市立三坂地小学校
- P.2 「少し思い出して」 中川会長  
サロン「みんなの話」報告
- P.3 連載/本人支援者・うたう会指導者 岩木 達
- P.4 知的・発達障害のある子どもを育てる Q&A
- P.5 ぼくの学級！わたしの学級！呉市立警固屋中学校
- P.6 手をつなぎ生きる 高橋 菜津子
- P.7 障害基礎年金学習会 本人活動報告
- P.8 お礼 お知らせ 書籍紹介 編集後記 他

## 8月の予定

- 8月21日(日)  
本人部会会議 10:30(呉つばき会館)  
うたう会 13:30(呉つばき会館)
- 8月27日(土)・9月3日(土)  
いくせい太鼓 14:00(呉つばき会館)  
★コロナ感染状況により変更になる  
場合もあります。ご確認ください  
★次回発行予定は9月1日です



# 「少し思い出して」



呉市手をつなぐ育成会 会長 中川 潤二

ちょっと思い出してみてください。  
今朝、ご飯は美味しく頂かれましたか？思い出して欲しいのは何をどれくらい食べたか？ではありません。朝食を食べる前「いただきます」って言われましたか？

「当たり前でよく覚えていないな」  
「朝はいつも忙しいので考えたことない」というような声が聞こえてきそうです。

今、朝だけではなく夕食も慌ただしい生活の中で「いただきます」も気にされない方もあると思います。家族そろっての団らんもむづかしい方も多そうです。一人だと言にくいという方もあるかもしれません。

コロナ禍の今、子供たちの給食も黙食です。(少しずつ見直されているようです)ただ、「いただきます」はマスクをしながら声を揃えて言っている

ようです。なぜ「いただきます」と言うのか考えたことはありますか？  
学校では「二つの意味があります。」と教えられています。一つは私たちが食べているもの全てに命があるということ。その命をいただくということ。もう一つは、食事を作ってくださっている方への感謝という意味があるということです。

何気ないことばですが、私たちが人との関わりを大切にすることでは大事なことばだと思います。

慌ただしく何かに追われているような生活の中だからこそ、コロナ禍の人との関わりが少なくなっている今だからこそ、少し思い出して忘れずに言ってみたいですね。

「いただきます」  
「ごちそうさまでした」



## サロン「みんなの話」 ひといいじゃない

### 何でも話そう聞いてみよう 報告

～参加された方の感想～

- 他の方の意見や考えを聞くことで、自分のことを考えることができました。親の都合ではなく、子どものこと(気持ち)を大事にしたいと思いました。就学について悩みますが皆さんの意見が参考になりました。
- 困りごとを書き出し、皆さんと共有することで、いろいろな見方ができることに気づきました。(本人はこう伝えたかったのかも…親都合で考えていたのかも…など。)少し気持ちの整理ができました。
- 嬉しかったこと、困りごとを改めて言葉にし、自分の考えが少しずつ整理できました。就学先についてまだまだ悩みますが、本人や家族としっかり悩んで納得した答えを出したいです。

今年度1回目のサロン「みんなの話」を行いました。

保護者3名が参加され、最近の嬉しかったこと、困っていることを話し合いました。自分の思いを話し相談、また他の方の話を聞き、みなさんと共有しました。ひとりで考えていると、たくさんの思いが溢れ考えられないことでも、他の方と一緒に考えることでヒントを得られるのではないでしょう。



現在、本人部会支援者・うたう会指導者の岩木達氏は小学校の元校長先生。前回の内容は障害児教育から障害者支援へ…。障害者週間行事だった「ふれあいコンサート」発足のお話でした。さて、今回のお話は…



## ふれあいコンサートからかしの木へ

小規模作業所のことを、広く市民に知ってもらおうと開催したふれあいコンサートは、WATHSをはじめとする多くのボランティアの支えで、その目的の第一歩を果たしました。

主役の作業所の仲間は、初めてのステージをやり終え、第2回への意欲を持ちました。

作業所の保護者・職員は、実施に向けての資金集めなどに奔走し、仲間以上に達成感を得ました。40ページの当日のプログラムの内、35ページが広告で埋まっています。大きな企業から、医院・商店・工務店・飲食店・美容院・八百屋などなど幅広く募って回られたことが何えまです。また、WATHSが制作したふれあいオリジナル曲のCDを協賛金として販売に回り、広告以上の収益を得ました。近所の人や近くのお店の人に、自分の作業所のこと、コンサートのことなど話されながら奔走されたのでしょうか。

ふれあいコンサートの終わった2月のある日、作業所が合同で法人の作業所

を作る準備をしていることを知らされました。

無認可の施設のため、県や市のわずかな補助で苦しい経営をしながらひっそりと活動をしていた小規模作業所が、ふれあいをやり遂げたエネルギーで法人化施設設立に動き出していたのです。そして3月、その設立準備委員会が立ち上がりました。

第2回のふれあいコンサートに向けての実行委員会(4月21日)の議事録の冒頭に、法人化について記載されているので、そのまま掲載します。

「呉かしの木作業所(授産施設として)の福祉法人化をめざして10ヶ所の作業所でその実現を目指して平成10年をめどに仲間たちで積極的に推進していきたい。

300坪の土地、50名、資産5、000万円と、きびしい条件もあるが、一步一步確実に進めていきたい。

第1回ふれあいコンサートの収益金も法人化の資金としてプールしておくつもりなので、第2回ふれあいコンサートは予算ゼロからの出発に

なる。コンサート開催の為の資金集めも、昨年よりきびしい状況になるのではないかと思っている。……」

法人化施設設立の途方もない夢が実現に向けて、ふれあいコンサートともに動き始めました。県の担当者との進捗状況を設立委員会の席で聞かされたりしましたが、前途多難のようでした。

夏祭りとしてバザーも開き、幅広い支援者からの援助もありました。ふれあいコンサートは練習を重ね、国立リハ祭前に出場するなど、前年以上に充実した取り組みをしました。小規模作業所は、昨年以上の資金集めをし、プログラムの広告は50ページに及びました。

そうした努力を重ねている時、無償での土地の提供者と施設的设计者があり、コンサートの頃には実現のめどが立ちました。

第2回ふれあいコンサートは大変盛り上がり作業所の仲間は来年を期待しましたが、職員保護者は燃え尽き、コンサートのための資金集めはここで終了しました。

…次回へ







# 知的・発達障害のある 子どもを育てるQ&A



## Q 学校の選び方

小学校へ上がる時期になりましたが、特別支援学校や特別支援学級など、どんな基準で選べばいいですか？

**A** 知的・発達障害の子どもは一人一人特性や障害の程度が違うので、一概にどこがいいとは言えないものです。保護者の中には「自分の判断で子どもの将来がきまってしまう…」などという重圧に押しつぶされそうになる方もおられるかもしれませんね。そこで、ちょっとしたポイントをあげてみました。

### 子どもの状況の整理

- ・得意なこと・苦手なこと、好きなこと・嫌いなこと、必要な支援・配慮などをまとめましょう。
- ・担任の先生、施設の職員、病院の先生などにも聞いて、どのような支援や配慮があれば過ごしやすいのか、学びやすいのかを整理しましょう。

### 情報収集

- ・地域によって通常学級、特別支援学級や特別支援学校の状況は異なります。同じような子どもを持つ先輩保護者に聞いてみたり、教育委員会に問い合わせを試みましょう。



### 見学に行く・相談する

- ・子どもに合うかどうか、自分の目で確かめるために見学に行ってみましょう。子どもの特性を思い浮かべながら、学校や学級の方針や雰囲気など、実際に見学をしてみると、子どもに合っているかどうかを見極めましょう。

### 必要な支援・配慮のある学校

- ・学校選びで一番大切なことは、子どもがストレスを感じることなく、必要な支援が受けられて楽しく過ごせるかどうかだと思います。家庭の状況も踏まえつつ、子どもの意思も尊重しながら「子どもの笑顔がたくさん見られる」学校を見つけてくださいね。

**Aさん** 「特別支援学校にするか？地域の特別支援学級にするか？長男の学校を選ぶときに考えたのはその二つでした。どちらにも長男にとってメリット、デメリットがありました。でも、最終的には、長男にとって過ごしやすい環境を選びました。それが一番の基準だと思います。」

**Mさん** 「息子の進路について、家族と話し合い特別支援学校が良いのではないかと決めたものの、息子は友達と同じ学校へ行きたいのではないかと私自身が悩み続けていました。先輩の方々に相談してみると、見学に行くようアドバイスをいただき、すぐに行きました。学校の雰囲気を実際に感じ、息子の中学校生活を思い描くことができ、息子が卒業する3年後の姿を想像し進路先を選びました。」

※悩み事で、尋ねてみたいことがあれば、いつでも育成会へ相談にいらしてくださいね。

## 呉市立警固屋中学校 若竹学級

ぼくの学級！  
わたしの学級！

若竹学級には、男子2名と女子2名の合計2名が在籍しています。

若竹学級では、1学期にスナップエンドウやじゃがいもを収穫しました。ホウセンカなどの花やトマトやなすやキュウリなどの野菜の苗植えをしました。花が大きくなったりトマトの実がついたり、なすの花がついたりします。毎日観察するのがとても楽しいです。



6月15日（水曜日）と16日（木曜日）に修学旅行で島根県に行きました。1日目は松江城に行き、散策したり、遊覧船に乗ったり、2日目は出雲大社やアクアスに行きました。アクアスでは白イルカのしあわせのバブルリングを見ました。

1日目 昼食



国宝 松江城天守閣



2日目 出雲大社



アクアス



## 「小学校に入学しました」

惇人は今年、地域の小学校の支援学級に入学しました。

惇人は、妊娠34週のと看、出産の兆候があり、救急車で大きな病院に運ばれ出産しました。産声もあげない、惇人の心臓は止まってしまいました。

子どもも見せてもらえず、周りは誰も何も言わず…作業の音だけの時間。

わたしは、「子をなくした」と、真っ白な頭で思いました。すごく静かな瞬間でした。

先生が、手をほどこしてくださり、しばらくして「ぎゃ〜」という小さな声が聞こえました。

小さな呼吸器を手で動かしながら「赤ちゃん元気です。別室へいきますね」と、惇人の顔を見せてくれました。

ぎりぎりのところで惇人の命はつながりました。

惇人はコミュニケーションが少しゆっくりとした子で軽度知的障害です。

体は同い年の子に比べ小さく、暑いときの体温調節が苦手なので、夏場の熱中症には注意する必要があります。

食事面では、口の中に入った食べ物を噛むこと、飲み込むことのスイッチの切り替えがうまくできないため、すぐ飲み込める離乳食中期のような形態にして食べています。

集団生活を始めるときは、惇人と関わってくださる方にたくさん伝えることがありま

した。

主には食事のことがハードルとなり、3歳上の姉とは同じ幼稚園に入園することはできませんでした。が、公立の受け入れてくださる保育所を見つけました。

保育所では、先生方とたくさん話をし、集団生活はどのようにすれば安全にすごせるのかを一緒に考え、何度も試行錯誤し、サポートしていただき、無事、保育所に通うことができ、惇人はたくさんの同年代の子どもたちと一緒に時間をすごすことができました。仲良しのお友達もでき「あっくん！」と声をかけてくれ、本当に嬉しかったです。

年中の5月頃から地域の小学校の支援学級の先生に、お話をさせていただく時間をもらいました。

支援学級で、どのようなフォローをしていただけるのか、全くわかりませんでした。体育のとき、体の小さいこの子が、他のお友達と衝突し怪我をしてしまうのではないかと、授業面では、わからないことに気づいてもらえず、置いてきぼりになってしまうのではないかと、不安でいっぱいでした。



### 障害基礎年金について基礎的なしくみや申請方法を学ぶセミナー

#### 「教えて！障害基礎年金」基本のき

障害基礎年金は、障害者手帳を持っていれば誰でももらえる、または就労しているとももらえない、と思いませんか？年金が受給できるかどうかは障害が重い、軽いというより生活をするうえでどれだけ支援が必要かによって決まります。

年金学習会「教えて！障害基礎年金」には手続きのポイントや疑問に思うことをわかりやすく解説していただきました。申請時にお役に立つ情報が盛りだくさんでした。

また、会員の皆さんにも学習会を開催したいと思います。(育成会だよりでお知らせします)





そのたびに、いろいろな人が相談にのってくださり、支えてもらいながら、入学の日を迎えました。

入学式の前日には、入学式の予行演習に招いていただき、当日の動き方を練習させていただきました。そして、先生方に、惇人の事を細かく知ってもらうために「惇人ノート」をつくり、誰でも見てもらえるように、学校に置いてもらいました。ノートには、今ある症状と、サポートがいることをまとめ、特に大事なところは赤色で囲み、忙しい先生方に、なるべくわかりやすくなるようにと工夫しました。

入学後は、惇人のペースに寄りそって指導していただき、先生にも恵まれ、とても熱心に話を聞いていただけました。先生も、わからないことは、質問してくださるので、一緒に、惇人の初めての学校生活を始めるための助走をしていただけました。不安は少しずつ小さくなりました。

小学校に通い、少しずつ文字を覚えて、本読みの宿題を見せてくれたときの、たどたどしいけど力強い声を聞きながらうれしくて泣いてしまいました。

これまで、惇人にとって最適な、よりよい環境ですごせるようにがんばってきたことが実を結んできているなど、感じる事ができました。

惇人が生まれてからこれまで、わたしの学んだことは、まず困っていることに気づくこと、そして人に困っていることを伝えることです。助けてほしいと言う事、人の力を借りることの大切さです。

生まれてからずっと、人に助けられて、人の力を借りながらの今があり、わたしも惇人も、いろんな人との関わりの中で、支えられて生かされてきました。これからも、ユニークな惇人が大きくなっていくには、たくさんの人の力を借りないといけないと思います。惇人が生まれなければ、知ることのなかったこと、出会うことのなかった人たち、わたしにとってとても大切な力だと思っています。

将来の目標は、出来ないことを人に伝え、人との関わりの中で生きていける人になること、惇人が元気に働く大人になることです。

明るい未来を想像して、今できることを毎日チャレンジしています。

惇人も家族もわたしも、今ある幸せを感じながら生きています。



## ほんにんかつどうほうこく 本人活動報告

がつ 7月17日(日)に予定して  
にち におりました本人部会会議・う  
にち ほんにんぶかいかいぎ  
よてい たいはコロナ感染拡大防止  
かい ため中止と致しました。  
ちゅうし いた

### 6月の本人活動より



## 書籍紹介

### ※「親なき後」をみんなで支える

「親代わりに本人の生活を支えてくれる人は?」「ずっと暮らせる場所はどこ?」…。知的障害のある人の高齢化と“親なき後”に向けて、私たち家族はこうした不安をずっと抱えてきました。



地域で生活していくためには、相談・医療・住まい・お金の4つのポイントが欠かせません。高齢期を迎えた知的障害のある人を支えていくための、この4つを中心としたネットワークのあり方について解説します。 1冊 1,100円(税込み)

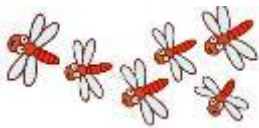
### ※「知的・発達障害のある子どもを育てるQ&A」

広島県手をつなぐ育成会から冊子が発行されています。この冊子は「Q1. 気になるな…と思ったら」



「Q8. こんな時どうするの〜」「Q19. 地域で暮らしていくには」など。幼児期から大人までの、24項目の質問事項に分かりやすく回答しています。

※ご希望の方は育成会までご連絡下さい。



## ☆ありがとうございました☆

【順不同・敬称略】(7月20日現在)



ご寄付をいただいた皆さま

匿名



サポート会員の皆さま

小田原 裕紀 清水 さおり

横路保育所 株式会社忠建 坂田 恭一

進藤 亜生子 友國 磨紀 松岡 大樹



育成会だよりを見て、「あの記事良かったよ〜!」「子どもさんがんばってるね〜。」と感想を頂きました。

また、募集記事をみて「使って下さい!」とバック等もご持参していただいています。

育成会だよりをたくさんの方が見て下さり、繋がっていることを改めて感じました。

…うれしいです★

～事務員のひとりごと～



## 編集後記

障害のある子の進学について、家族で意見が違ったり、なかなか考えがまとまらなかつたりと、悩んでおられる方が多くいらっしゃいます。障害の特性や、これまでのおともたちとの関係、兄弟姉妹の事…と理由は様々です。普通学級、特別支援学級、特別支援学校…。「どこへ行く」は大事ですが、「何を学ぶか」「どう学ぶか」も大切になります。見学や支援の相談をしてみましょう。今、結論が出なくても、子どもの様子を見て、また相談してみるのもいいかもしれませんね。育成会も一緒に考えていきます。

I R O H A



中国運輸局広島陸運支局長指定 民間車検工場

イロハ自動車 株式会社

〒737-0056 広島県呉市晴日町19-10

TEL(0823)25-0811/FAX(0823)25-2837